



令和7年度

埼玉県学校保健統計
(学校保健統計調査報告書)

埼玉県

ま え が き

学校保健統計調査は、統計法に基づく基幹統計調査として、都道府県を通して文部科学省が毎年実施しています。この報告書は、令和7年度に実施した「学校保健統計調査」の結果から、本県分の発育及び健康状態について取りまとめたものです。

児童・生徒等の健康状態を継続的に把握することは、各学校等での、保健に関する事業の計画・立案に不可欠なものであり、当調査結果は、そのための有益な参考資料となることと存じます。

本報告書を発行するに当たり、多大な御尽力をいただきました各学校、市町村及び関係各機関に対しまして、深く感謝申し上げます。

この報告書を学校保健に関する基礎資料として、広く御活用いただければ幸いです。

令和8年3月

埼玉県総務部統計課長

目次

まえがき

I 調査の概要	1
II 調査結果	
1 発育状態	5
2 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率	9
3 健康状態	11
III 統計表	
1 身長・体重の平均値及び標準偏差	
2 都道府県別 肥満傾向児の出現率	
3 都道府県別 痩身傾向児の出現率	
4 埼玉県の年齢別 疾病・異常被患率等	
5 全国の年齢別 疾病・異常被患率等	
6 埼玉県の年齢別 平均身長の変遷	
7 埼玉県の年齢別 平均体重の変遷	
8 埼玉県の学校段階別 肥満傾向児・痩身傾向児出現率の変遷	
9 埼玉県の学校段階別 おもな疾病・異常被患率等の変遷	
10 都道府県別 相談員・スクールカウンセラーの配置状況	

I 調査の概要

学校保健統計調査（基幹統計調査）は、統計法に基づいて文部科学省が、昭和 23 年度から実施している調査である。令和 7 年度調査の本県分の概要は次のとおり。

1 調査の目的

幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の発育及び健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

(1) 調査の範囲

県内の国・公・私立の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校のうち、文部科学大臣が指定した学校（以下、「調査実施校」という。）とする。

(2) 調査の対象

調査実施校に在籍する満 5 歳から 17 歳（4 月 1 日現在）までの児童等。

(3) 調査実施校及び調査対象者の抽出方法

この調査は標本調査であり、発育状態調査が層化二段無作為抽出法、健康状態調査が層化集落抽出法により調査対象を抽出している。

標本抽出は、次のアからウの方法で行う。

ア 各都道府県の児童生徒数及び学校数に応じ調査実施校数を学校種別に決定する。

イ 次の（ア）から（ウ）の方法で調査実施校を決定する。

（ア）都道府県別、学校種別に、児童・生徒数に応じ、学校を層化する。

（イ）当該都道府県の調査実施校数を層数で割り、1 層当たりの割当学校数を求める。

（ウ）各層内で、調査実施校を単純無作為抽出する。

ウ 発育状態調査については、年齢別、男女別に系統抽出法により対象児童等を抽出する。健康状態調査については、調査実施校の在学者全員を対象とする。

なお、本県における調査実施校、調査対象者数及び抽出率は、次のとおりである。

区分	調査実施校数	児童等総数 (A)	発育状態調査対象者数(B)	抽出率 B/A(%)	健康状態調査対象者数(C)	抽出率 C/A(%)
幼稚園	44	27,424	1,693	6.2%	2,645	9.6%
小学校	65	346,168	6,164	1.8%	37,958	11.0%
中学校	45	181,806	5,285	2.9%	22,595	12.4%
高等学校	39	158,435	3,375	2.1%	41,586	26.2%
計	193	713,833	16,517		104,784	

※児童等総数は令和 7 年度学校基本調査結果による。

注 1：高等学校には「通信制課程」を含んでいない。

注 2：幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む。児童等総数は「5 歳児」のみ的人数。

注 3：小学校には義務教育学校の第 1～6 学年を、中学校には中等教育学校の前期課程及び義務教育学校の第 7～9 学年を、高等学校には中等教育学校の後期課程をそれぞれ含む。

3 調査事項

(1) 児童等の発育状態

身長、体重

(2) 児童等の健康状態

栄養状態、せき柱・胸郭・四肢の状態、裸眼視力、眼の疾病・異常、難聴、耳鼻咽喉頭疾患、結核に関する検診、結核、心電図異常、心臓の疾病・異常、蛋白検出、尿糖検出、その他の疾病・異常、歯・口腔、永久歯のう歯等数

4 調査の期日及び方法

(1) 調査期日

学校保健安全法による健康診断の結果に基づき、4月1日から6月30日の間に実施。

(2) 調査方法

調査実施校に指定された学校（園）の長が、発育状態調査票及び健康状態調査票を提出。

(3) 調査系統

調査系統は、次のとおりである。



5 集計方法

文部科学省において機械集計。

6 健康状態調査の調査対象者

健康状態調査の調査項目の一部について、調査対象年齢が限定されているものがある。○印は、調査対象年齢である。

区 分	幼稚園及び 幼保連携型 認定こども園	小学校及び義務教育学校 (第1～6学年)						中学校、中等教育 学校の前期課程及 び義務教育学校 (第7～9学年)			高等学校及 び中等教育 学校の後期 課程		
	5歳	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
聴力検査	—	○	○	○	—	○	—	○	—	○	○	—	○
結核に関する検診	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
結核検査	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—
心電図検査	—	○	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—	—
尿糖検査	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
永久歯のう歯等数	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—
上記以外の検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

7 利用上の注意

(1) 学校保健統計調査は標本調査で、標本数にウェイト（抽出率の逆数）をかけた推計値から求めた構成比である。集計後に四捨五入をしているため、総計と内訳の合計とは一致しない場合がある。

(2) 統計表に用いた記号

「 — 」：計数がない場合

「 0.00 」：計数が単位未満の場合

「 … 」：計数出現があり得ない場合又は調査対象とならなかった場合

「 X 」：疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない場合

(3) 肥満傾向児と痩身傾向児は発育状態調査票から算出したものである。下記の計算式により性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者を肥満傾向児とし、肥満度が-20%以下の者を痩身傾向児とした。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) / \text{身長別標準体重} \times 100 (\%)$$

(4) 健康状態における「疾病・異常被患率」とは、学校の健康診断で、学校医又は学校歯科医が疾病・異常と判定した者の割合である。

(5) 「肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率」及び「健康状態調査」の結果は、平成18年度調査から都道府県別集計が可能となった。

(6) この報告書は文部科学省において集計した確報値（令和8年2月13日公表）をもとに取りまとめたものである。

8 新型コロナウイルス感染症に伴う対応

令和2年度から5年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断について、当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても、調査期間を年度末まで延長することとした。

このため、本集計結果は、成長の著しい時期において、測定時期を異にしたデータを集計したものとっており、過去の数値と単純比較することはできない。

Ⅱ 調査結果

1 発育状態

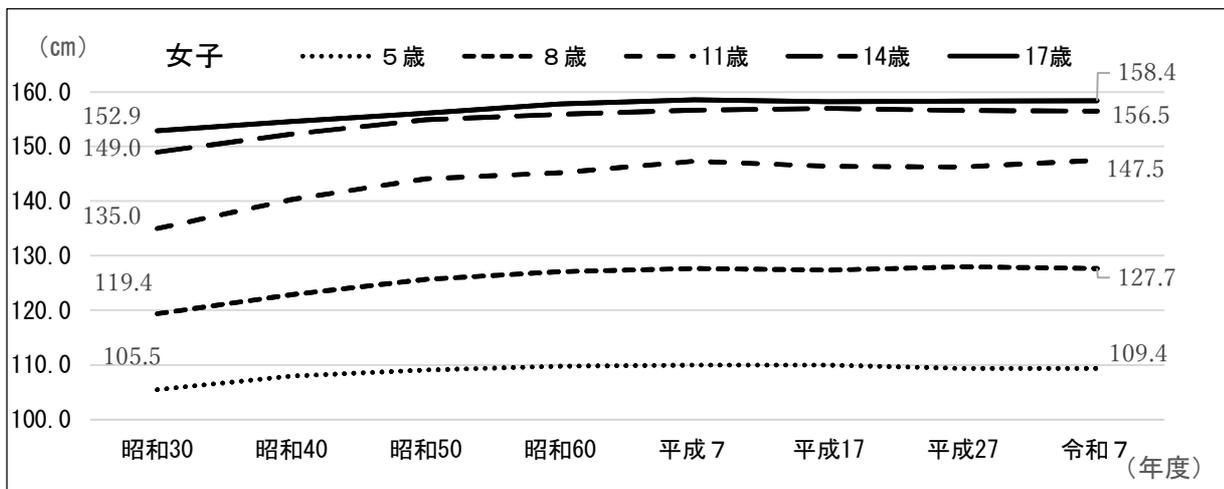
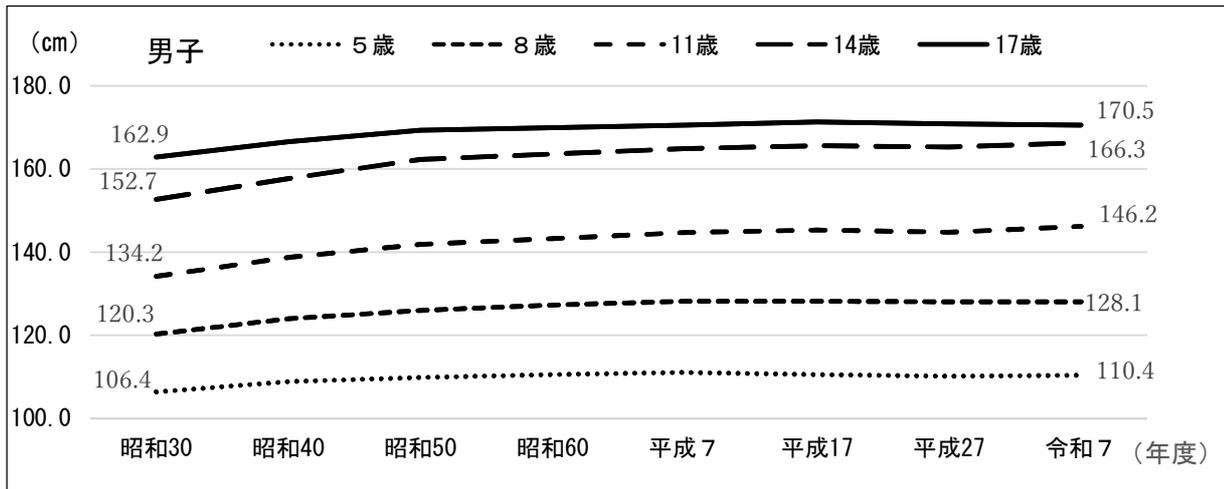
(1) 年齢別平均値 (表 1・2、図 1・2、統計表 1・6・7)

ア 身長

平均値の推移を直近 10 年 (平成 28 年～令和 7 年) とその前 10 年 (平成 18 年～27 年) で比べると、

- ・男子は全ての年齢でおおむね横ばいとなっている。
- ・女子は 5 歳と 13 歳は横ばい、その他の年齢はすべておおむね横ばいとなっている。

◆図 1 身長 (平均値) の推移



(注) 1. 昭和 45 年度及び昭和 46 年度は、全国平均値。

◇表 1 年齢別・男女別 直近 10 年とその前 10 年の平均値の比較

(単位 : cm)

男子	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
平成18年～27年	110.5	116.7	122.6	128.2	133.7	138.9	145.0	152.3	159.6	165.2	168.4	169.9	170.9
平成28年～令和7年	110.6	117.0	122.9	128.6	134.0	139.7	145.8	153.4	160.5	165.8	168.6	170.1	170.8
女子	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
平成18年～27年	109.7	115.8	121.7	127.6	133.5	140.4	146.8	151.9	155.1	156.7	157.3	157.9	158.1
平成28年～令和7年	109.7	116.1	121.9	127.9	134.0	141.0	147.4	152.2	155.1	156.6	157.4	157.8	158.2

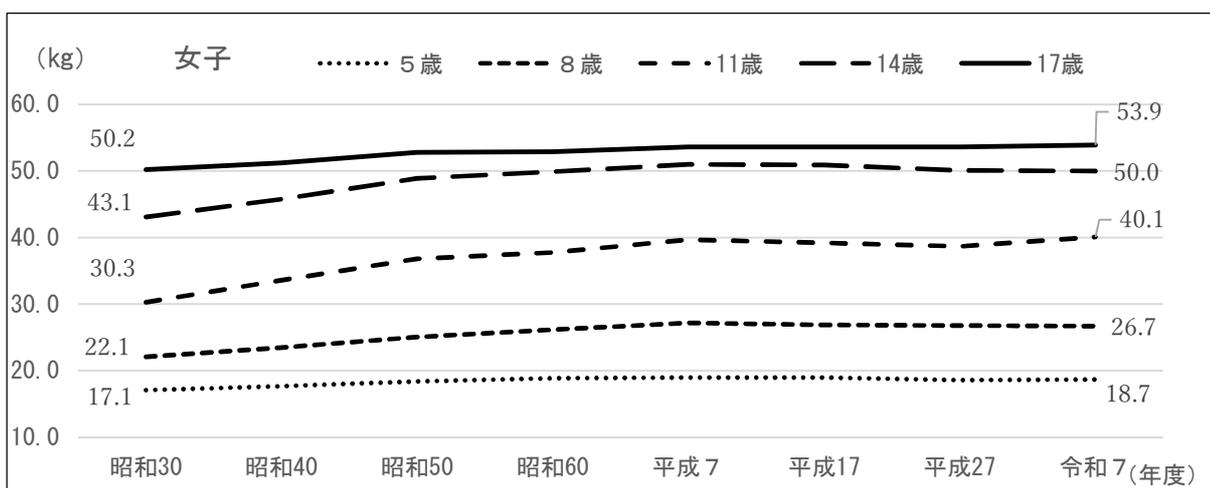
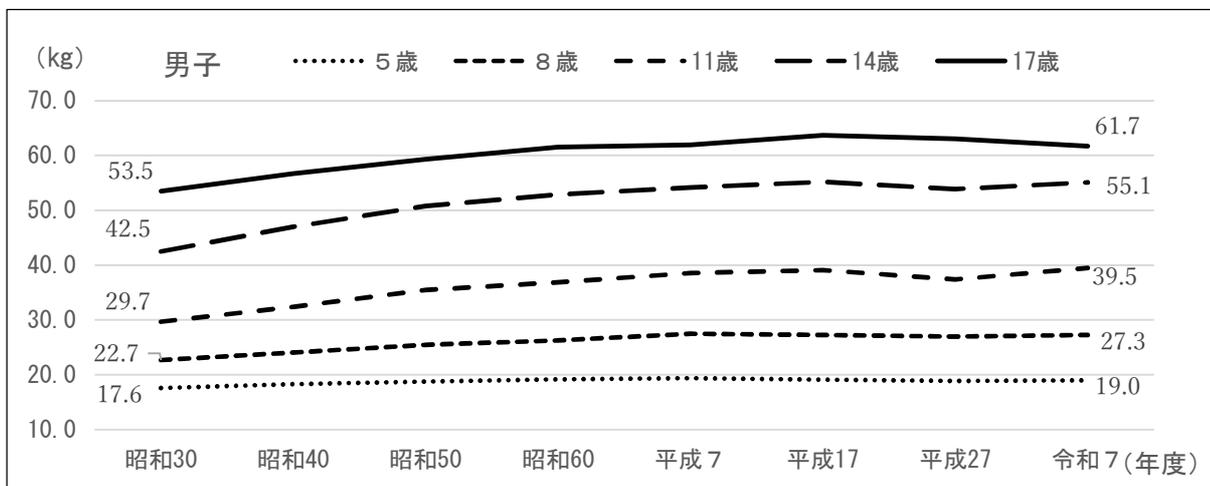
(注) 10 年間の平均値は、各年度の平均値から算出している。(小数点以下第二位を四捨五入)

イ 体重

平均値の推移を直近 10 年（平成 28 年～令和 7 年）とその前 10 年（平成 18 年～27 年）で比べると、

- ・男子は 7 歳～13 歳で 10 年前の平均値を上回っている。
- ・女子は 5 歳、6 歳、12 歳～15 歳、17 歳はおおむね横ばいとなっている。

◆図 2 体重（平均値）の推移



(注) 1. 昭和 45 年度及び昭和 46 年度は、全国平均値。

◇表 2 年齢別・男女別 直近 10 年とその前 10 年の平均値の比較 (単位 : kg)

男子	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳	17 歳
平成18年～27年	19.0	21.5	24.1	27.1	30.6	34.1	38.0	43.7	48.9	54.0	59.0	61.1	62.8
平成28年～令和7年	19.1	21.7	24.5	27.7	31.2	35.0	39.2	44.9	49.7	54.5	58.8	60.4	62.1
女子	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳	17 歳
平成18年～27年	18.7	21.0	23.5	26.5	29.9	34.5	38.9	43.8	47.3	50.1	52.1	53.0	53.1
平成28年～令和7年	18.8	21.2	23.8	26.9	30.5	34.9	39.7	44.1	47.5	50.0	51.7	52.4	53.2

(注) 10 年間の平均値は、各年度の平均値より算出している。(小数点以下第二位を四捨五入)

(2) 男女間の比較 (表3、図3、統計表1)

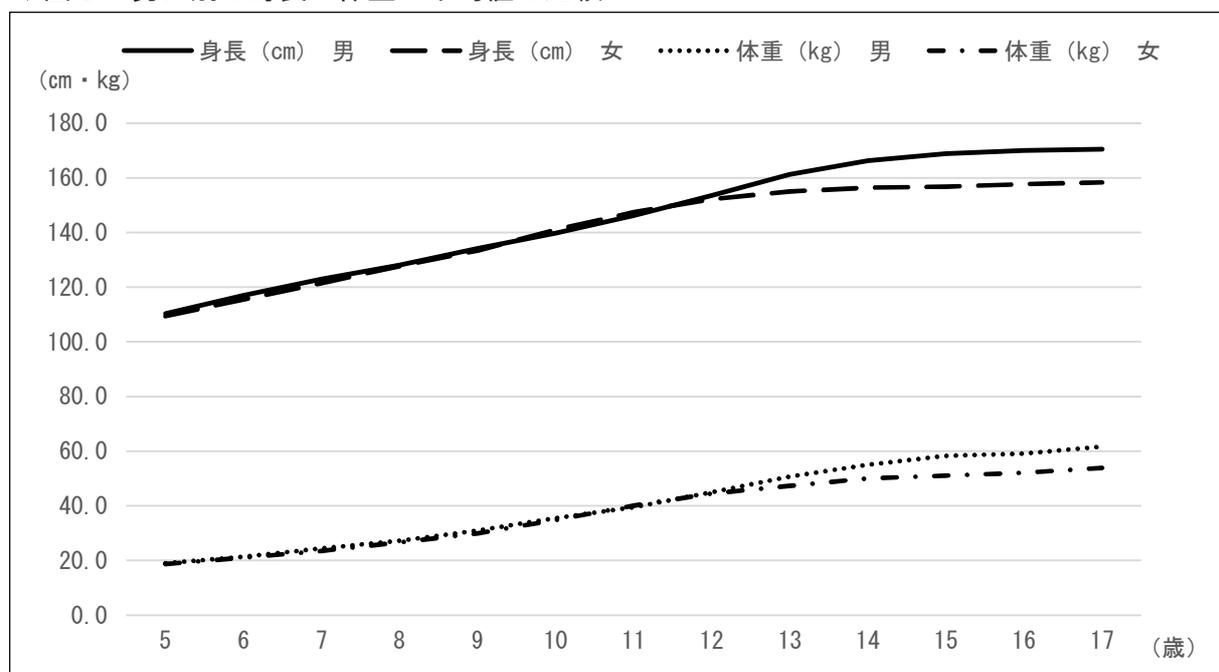
・同年齢の男女の平均値を比較すると、身長は10歳・11歳で女子が、体重は、11歳で女子が男子を上回っている。

◇表3 身長・体重の平均値 (埼玉県)

区 分		身 長 (cm)			体 重 (kg)		
		男 (A)	女 (B)	男女差 (A-B)	男 (A)	女 (B)	男女差 (A-B)
幼 稚 園	5 歳	110.4	109.4	1.0	19.0	18.7	0.3
小 学 校	6 歳	117.0	115.6	1.4	21.4	21.0	0.4
	7 歳	122.9	121.5	1.4	24.4	23.5	0.9
	8 歳	128.1	127.7	0.4	27.3	26.7	0.6
	9 歳	134.1	133.4	0.7	31.0	29.9	1.1
	10 歳	139.8	141.1	▲ 1.3	35.5	34.8	0.7
	11 歳	146.2	147.5	▲ 1.3	39.5	40.1	▲ 0.6
中 学 校	12 歳	153.5	152.3	1.2	45.0	44.5	0.5
	13 歳	161.3	155.1	6.2	50.7	47.4	3.3
	14 歳	166.3	156.5	9.8	55.1	50.0	5.1
高 等 学 校	15 歳	168.9	156.8	12.1	58.3	51.1	7.2
	16 歳	170.0	157.8	12.2	59.2	52.1	7.1
	17 歳	170.5	158.4	12.1	61.7	53.9	7.8

(注) 「男女差」は男の数値から女の数値を差し引いたものである。

◆図3 男女別の身長・体重の平均値の比較



(3) 全国との比較 (表4、図4、統計表1)

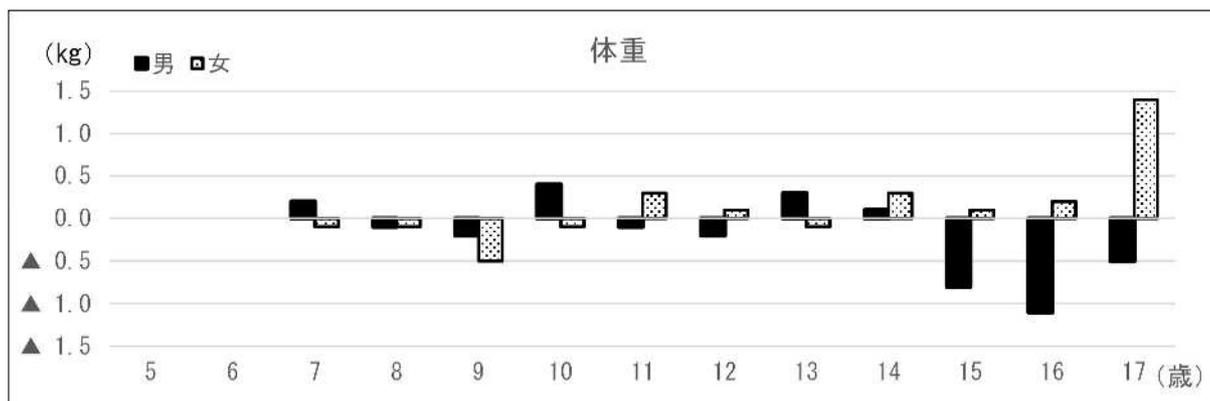
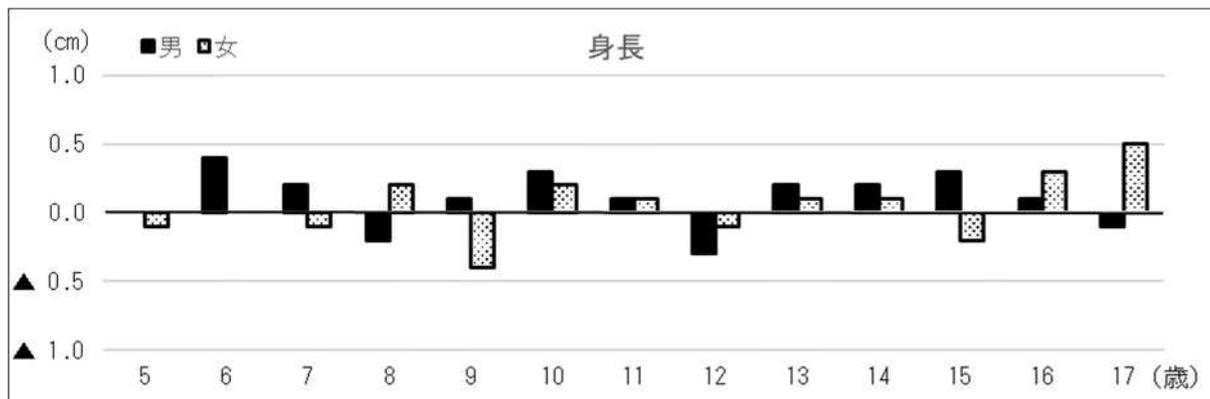
- ・身長は、男女とも半数以上の年齢で全国平均値を上回っている。
- ・体重は、女子は6つの年齢で全国平均値を上回っている。

◇表4 身長・体重の平均値の全国との比較

区 分		身長 (cm)						体重 (kg)					
		男			女			男			女		
		埼玉 (A)	全国 (B)	差 (A-B)									
幼稚園	5歳	110.4	110.4	0.0	109.4	109.5	▲ 0.1	19.0	19.0	0.0	18.7	18.7	0.0
小学校	6歳	117.0	116.6	0.4	115.6	115.6	0.0	21.4	21.4	0.0	21.0	21.0	0.0
	7歳	122.9	122.7	0.2	121.5	121.6	▲ 0.1	24.4	24.2	0.2	23.5	23.6	▲ 0.1
	8歳	128.1	128.3	▲ 0.2	127.7	127.5	0.2	27.3	27.4	▲ 0.1	26.7	26.8	▲ 0.1
	9歳	134.1	134.0	0.1	133.4	133.8	▲ 0.4	31.0	31.2	▲ 0.2	29.9	30.4	▲ 0.5
	10歳	139.8	139.5	0.3	141.1	140.9	0.2	35.5	35.1	0.4	34.8	34.9	▲ 0.1
	11歳	146.2	146.1	0.1	147.5	147.4	0.1	39.5	39.6	▲ 0.1	40.1	39.8	0.3
中学校	12歳	153.5	153.8	▲ 0.3	152.3	152.4	▲ 0.1	45.0	45.2	▲ 0.2	44.5	44.4	0.1
	13歳	161.3	161.1	0.2	155.1	155.0	0.1	50.7	50.4	0.3	47.4	47.5	▲ 0.1
	14歳	166.3	166.1	0.2	156.5	156.4	0.1	55.1	55.0	0.1	50.0	49.7	0.3
高等学校	15歳	168.9	168.6	0.3	156.8	157.0	▲ 0.2	58.3	59.1	▲ 0.8	51.1	51.0	0.1
	16歳	170.0	169.9	0.1	157.8	157.5	0.3	59.2	60.3	▲ 1.1	52.1	51.9	0.2
	17歳	170.5	170.6	▲ 0.1	158.4	157.9	0.5	61.7	62.2	▲ 0.5	53.9	52.5	1.4

(注) 「差」は埼玉県の数値から全国の数値を差し引いたものである。

◆図4 身長・体重の平均値の全国との比較 (埼玉県ー全国)



2 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率（表5・6、図5・6、統計表2・3・8）

肥満傾向児の出現率は、

- ・男子は10歳（14.76%）、女子は17歳（11.93%）が最も高くなっている。
- ・前年度と比較すると男子は減少した年齢が多く、女子は増加した年齢が多い。
- ・全国と比較すると男女とも半数以上の年齢で下回っている。

痩身傾向児の出現率は、

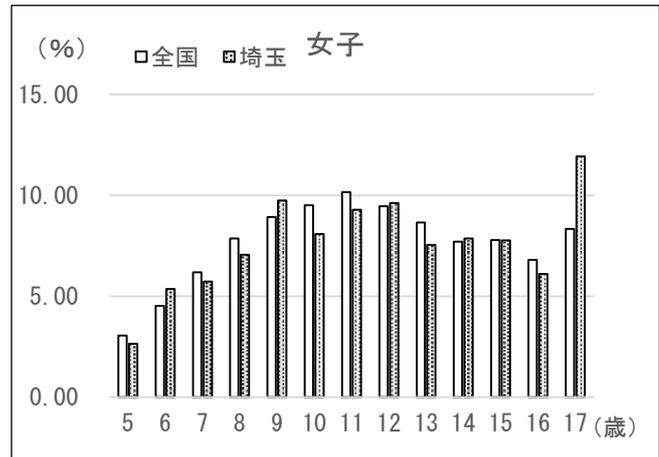
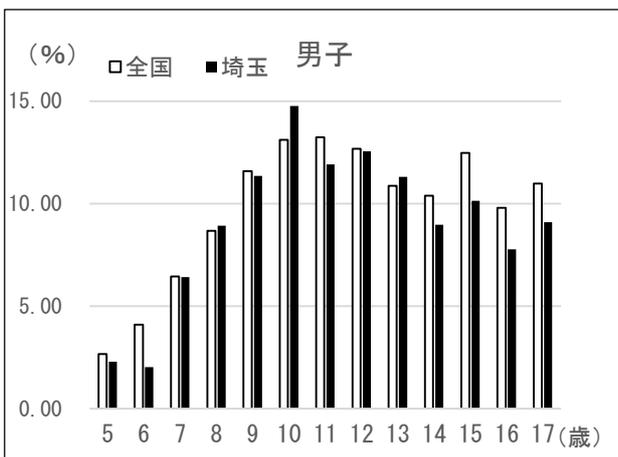
- ・男子は16歳（4.70%）、女子は12歳（4.40%）が最も高くなっている。
- ・前年度と比較すると男子は減少した年齢が多く、女子は増加した年齢が多い。
- ・全国と比較すると女子は半数以上の年齢で下回っている。

◇表5 肥満傾向児の出現率

（単位：％）

区 分		肥満傾向児									
		男					女				
		埼玉県 (A)	前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)	埼玉県 (A)	前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)
幼稚園	5歳	2.29	3.13	▲ 0.84	2.66	▲ 0.37	2.64	3.51	▲ 0.87	3.06	▲ 0.42
	6歳	2.03	3.14	▲ 1.11	4.10	▲ 2.07	5.36	3.51	1.85	4.53	0.83
小学校	7歳	6.41	6.80	▲ 0.39	6.44	▲ 0.03	5.72	5.95	▲ 0.23	6.19	▲ 0.47
	8歳	8.93	10.26	▲ 1.33	8.68	0.25	7.05	7.90	▲ 0.85	7.86	▲ 0.81
	9歳	11.36	13.57	▲ 2.21	11.59	▲ 0.23	9.75	8.03	1.72	8.93	0.82
	10歳	14.76	11.41	3.35	13.12	1.64	8.08	9.31	▲ 1.23	9.51	▲ 1.43
	11歳	11.92	14.13	▲ 2.21	13.24	▲ 1.32	9.28	10.07	▲ 0.79	10.16	▲ 0.88
中学校	12歳	12.55	11.26	1.29	12.68	▲ 0.13	9.62	9.52	0.10	9.46	0.16
	13歳	11.30	9.90	1.40	10.87	0.43	7.55	7.45	0.10	8.66	▲ 1.11
	14歳	8.97	10.31	▲ 1.34	10.39	▲ 1.42	7.87	7.65	0.22	7.71	0.16
高等学校	15歳	10.14	12.89	▲ 2.75	12.47	▲ 2.33	7.77	9.26	▲ 1.49	7.79	▲ 0.02
	16歳	7.77	11.76	▲ 3.99	9.79	▲ 2.02	6.11	5.64	0.47	6.80	▲ 0.69
	17歳	9.10	11.79	▲ 2.69	10.98	▲ 1.88	11.93	8.57	3.36	8.34	3.59

◆図5 肥満傾向児出現率の割合の全国との比較

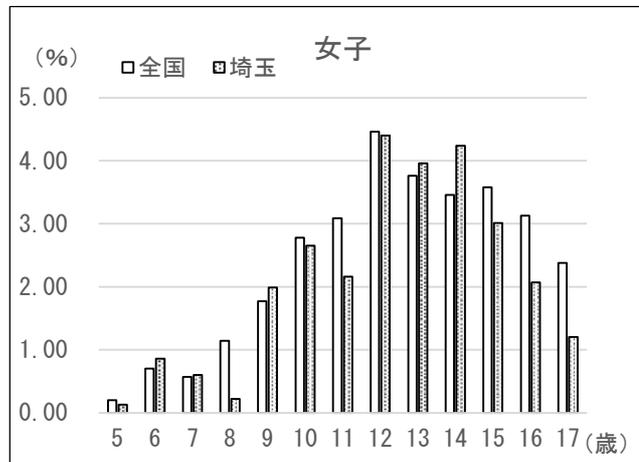
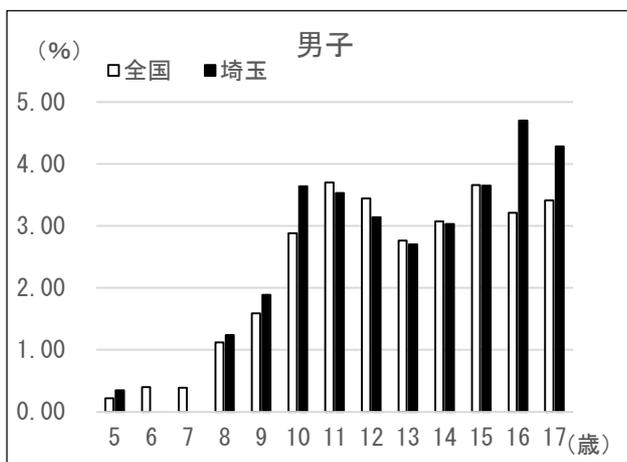


◇表6 痩身傾向児の出現率

(単位：%)

区分		痩身傾向児									
		男					女				
		埼玉県 (A)	前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)	埼玉県 (A)	前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)
幼稚園	5歳	0.35	0.31	0.04	0.22	0.13	0.13	0.52	▲ 0.39	0.20	▲ 0.07
小学校	6歳	-	0.71	-	0.40	-	0.86	0.69	0.17	0.70	0.16
	7歳	-	0.16	-	0.39	-	0.60	0.45	0.15	0.57	0.03
	8歳	1.24	0.57	0.67	1.12	0.12	0.22	0.97	▲ 0.75	1.14	▲ 0.92
	9歳	1.89	1.96	▲ 0.07	1.59	0.30	1.99	1.48	0.51	1.77	0.22
	10歳	3.64	3.94	▲ 0.30	2.88	0.76	2.65	4.75	▲ 2.10	2.78	▲ 0.13
	11歳	3.53	4.33	▲ 0.80	3.70	▲ 0.17	2.16	2.31	▲ 0.15	3.09	▲ 0.93
中学校	12歳	3.14	5.13	▲ 1.99	3.44	▲ 0.30	4.40	4.05	0.35	4.46	▲ 0.06
	13歳	2.70	4.65	▲ 1.95	2.76	▲ 0.06	3.96	4.45	▲ 0.49	3.76	0.20
	14歳	3.03	3.73	▲ 0.70	3.07	▲ 0.04	4.24	2.89	1.35	3.46	0.78
高等学校	15歳	3.65	3.27	0.38	3.66	▲ 0.01	3.01	2.12	0.89	3.58	▲ 0.57
	16歳	4.70	3.35	1.35	3.21	1.49	2.07	2.06	0.01	3.13	▲ 1.06
	17歳	4.28	4.11	0.17	3.41	0.87	1.20	2.08	▲ 0.88	2.38	▲ 1.18

◆図6 痩身傾向児出現率の割合の全国との比較



3 健康状態

(1) 疾病・異常等の状況

◇表7 主な疾病・異常等の被患率

区分	裸未 眼 視 満 力 1 の 0 者	眼 の 疾 病 ・ 異 常	耳 疾 患	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	むし歯(う歯)			歯 列 ・ 咬 合	ア 性 ト 皮 ビ 膚 炎	心 電 図 異 常	蛋 白 検 出 の 者	ぜ ん 息	
					計	処 完 了 置 者	未 の 処 あ る 置 る 者						
幼稚園	埼玉県	17.2	0.5	0.5	0.7	14.8	4.8	10.0	4.2	1.5	…	0.4	0.5
	(前年度)	(18.4)	(0.7)	-	(0.8)	(16.6)	(6.4)	(10.3)	(3.0)	(1.1)	…	(1.2)	(0.9)
	全 国	23.9	1.8	2.4	2.6	19.4	7.0	12.5	5.0	1.6	…	0.6	1.3
小学校	埼玉県	34.9	5.9	5.4	6.6	24.9	12.8	12.1	5.5	2.6	1.8	1.1	3.1
	(前年度)	(35.7)	(4.2)	(5.5)	(8.3)	(26.7)	(14.8)	(11.9)	(4.6)	(2.2)	(1.7)	(2.1)	(2.6)
	全 国	36.1	5.8	6.2	11.4	30.8	15.1	15.8	5.5	3.3	2.5	1.0	3.2
中学校	埼玉県	56.2	3.0	4.8	10.0	21.8	13.6	8.2	4.5	1.9	2.8	3.5	2.0
	(前年度)	(56.4)	(2.5)	(4.6)	(6.6)	(21.4)	(13.6)	(7.8)	(4.5)	(2.4)	(2.2)	(4.0)	(1.3)
	全 国	59.4	5.2	4.3	10.9	25.2	15.2	10.1	5.7	3.0	3.4	2.7	2.1
高等学校	埼玉県	66.5	2.9	3.1	5.8	27.6	16.6	11.0	3.0	0.8	2.2	2.4	1.3
	(前年度)	(69.2)	(1.6)	(3.4)	(7.3)	(31.1)	(20.7)	(10.4)	(4.3)	(1.5)	(2.1)	(2.5)	(0.9)
	全 国	71.5	3.2	2.3	7.3	32.8	20.7	12.1	4.5	2.5	3.3	2.6	1.5

注) 1 全国の値については、小数点以下第2位を四捨五入している。以下の各表において同じ。

2 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ調査対象としている。

(2) 主な疾病・異常等の状況

ア 裸眼視力(表7・8・9、図7・8・9、統計表4・5・9)

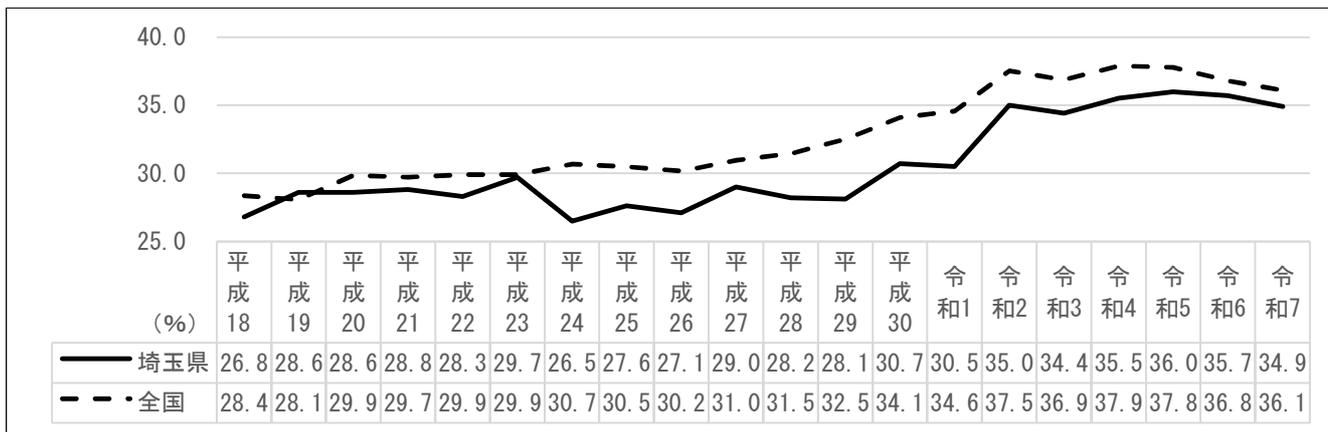
- ・小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合は、過去5番目となった。(34.9%)
- ・小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合の推移を直近5年間(令和3年~7年)とその前5年間(平成28年~令和2年)の平均値で比べると直近5年間の方が高くなっている。
- ・小学生の裸眼視力を年齢別に見ると、6歳(小学校1年生)で2割以上(22.1%)、11歳(小学校6年生)では半数近く(47.9%)が裸眼視力1.0未満になっている。
- ・小学生の裸眼視力0.3未満の者の割合は、学年が上がるとともに増加し、6歳(小学校1年生)の1.7%に比べ、11歳(小学校6年生)では19.8%と、18.1ポイント高くなっている。
- ・男女間で比較すると、小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合は、7歳(小学校2年)のみ男子が女子を上回っている。
- ・全国と比較すると、小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合は、男子は7歳(小学校2年)女子は11歳(小学校6年生)で全国を上回っている。

◇表8 年齢別裸眼視力1.0未満の者の割合

(単位: %)

区分	幼		小学校					中学校			高校		
	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
1.0未満 0.7以上	12.8	12.8	11.4	11.2	9.5	8.8	8.9	12.5	11.7	12.8	10.4	14.7	X
0.7未満 0.3以上	4.1	7.6	11.0	13.4	15.5	16.2	19.3	14.9	15.0	17.9	18.6	24.6	X
0.3未満	0.3	1.7	4.5	7.2	12.1	16.2	19.8	22.3	28.5	32.8	36.1	30.9	X

◆図7 小学生の裸眼視力 1.0 未満の者の割合の推移

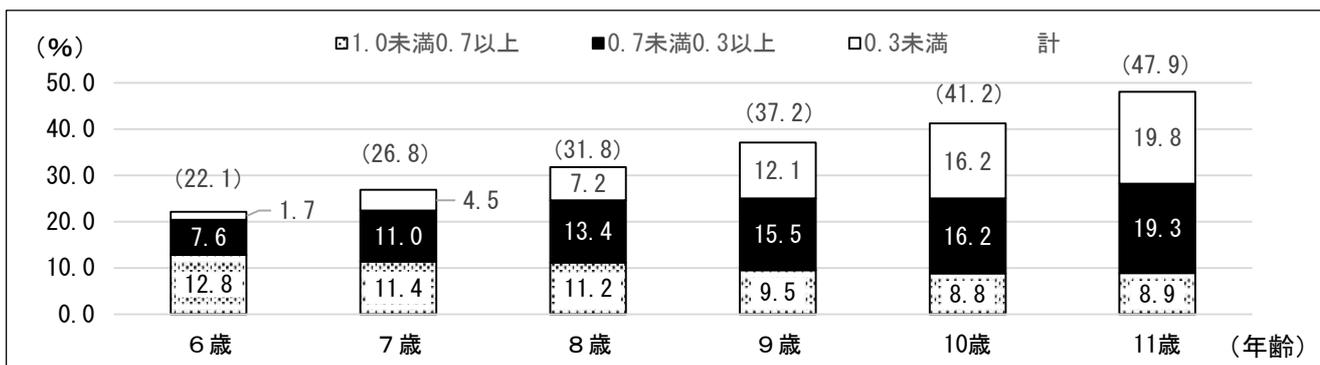


◇表9 小学生の裸眼視力 1.0 未満の者の推移（直近5年とその前5年の比較）（単位：％）

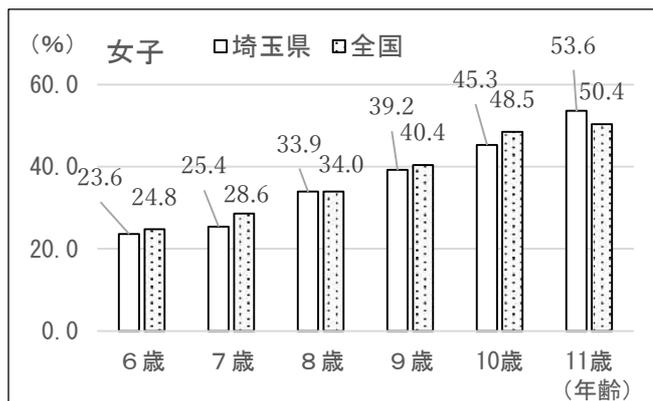
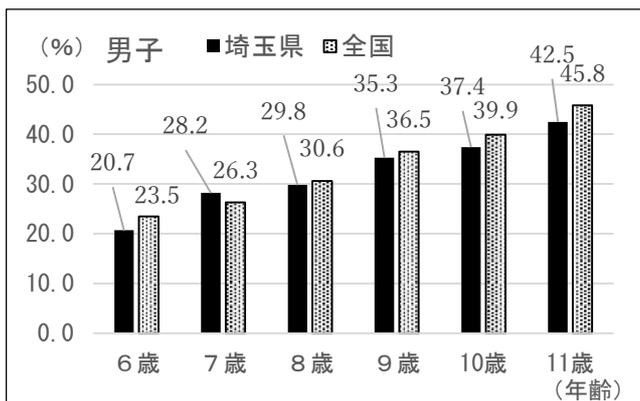
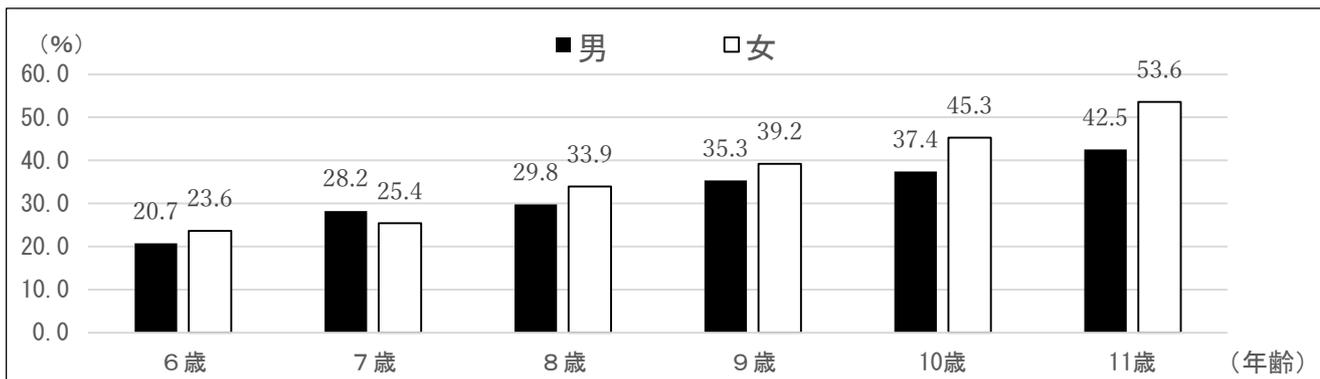
区分	平成28年～令和2年	令和3年～7年
疾病・異常被患率の平均値	30.5	35.3

注）平均値は、5年間の疾病・異常被患率の平均値より算出している。（小数点以下第二位を四捨五入）

◆図8 小学生の年齢別 裸眼視力 1.0 未満の者の割合（埼玉県）



◆図9 小学生の年齢別裸眼視力 1.0 未満の者の割合（男女の比較・全国との比較）



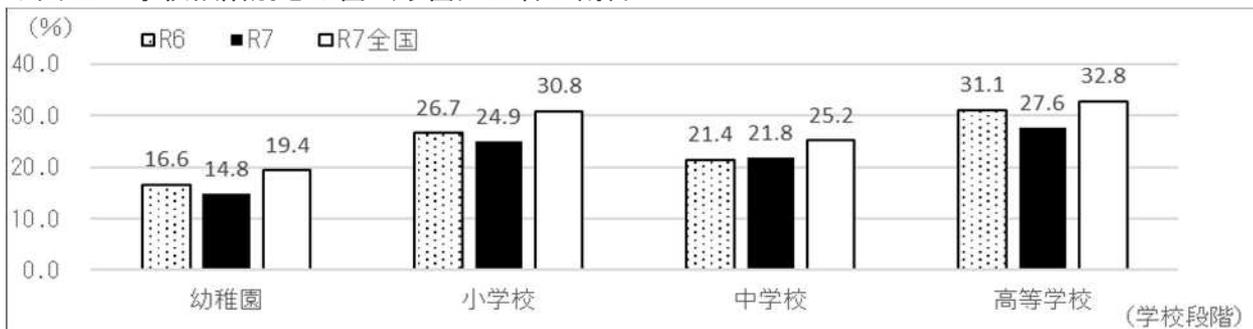
イ むし歯（う歯）（表 10・11、図 10・11、統計表 4・5・9）

- ・被患率を年齢別で見ると、17 歳（30.5%）が最も高くなっている。
- ・前年度と比較すると、半数以上の年齢で減少している。
- ・全国と比較すると、すべての年齢で下回っている。
- ・むし歯（う歯）の者の割合を前年度と比べると中学校以外は減少しており、小学校・中学校・高等学校では 3 割以下、幼稚園では 2 割以下になっている。
- ・被患率について直近 5 年間（令和 3 年～ 7 年）とその前 5 年間（平成 28 年～令和 2 年）の平均値を比べると直近 5 年間の方が低くなっている。

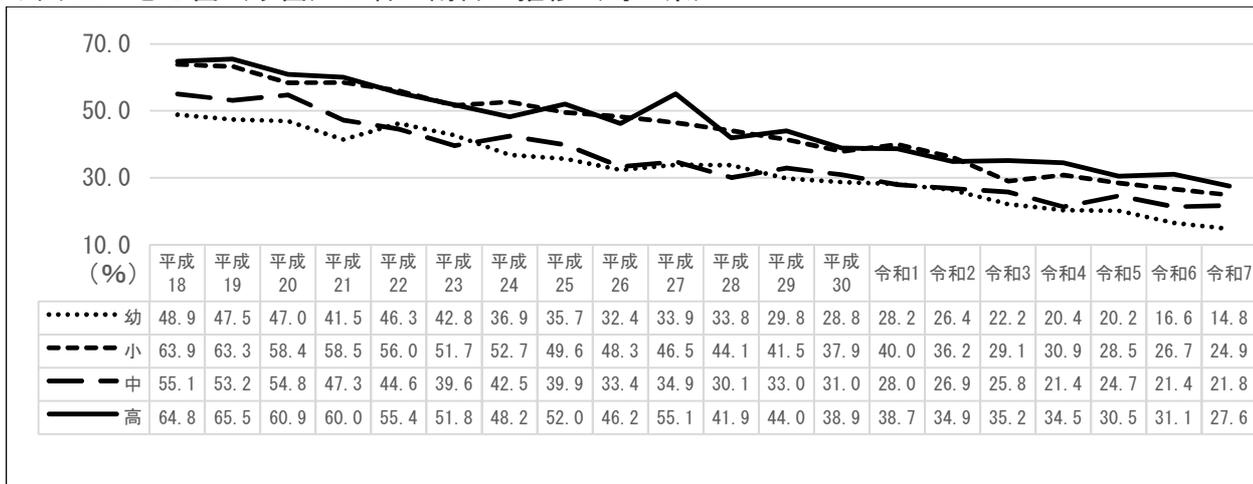
◇表 10 年齢別むし歯（う歯）の者の割合（単位：%）

区分		埼玉県 (A)	処置完了者	未処置歯の ある者	前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)
幼稚園	5 歳	14.8	4.8	10.0	16.6	▲ 1.8	19.4	▲ 4.6
	6 歳	19.0	6.9	12.1	20.8	▲ 1.8	24.4	▲ 5.4
小学校	7 歳	24.7	12.2	12.5	26.7	▲ 2.0	30.7	▲ 6.0
	8 歳	29.0	13.8	15.2	31.3	▲ 2.3	36.1	▲ 7.1
	9 歳	29.8	16.7	13.1	31.2	▲ 1.4	36.8	▲ 7.0
	10 歳	26.3	14.8	11.5	27.9	▲ 1.6	32.0	▲ 5.7
	11 歳	20.2	11.9	8.3	21.7	▲ 1.5	24.6	▲ 4.4
中学校	12 歳	20.2	12.4	7.8	18.3	▲ 1.9	23.1	▲ 2.9
	13 歳	21.6	13.3	8.3	22.3	▲ 0.7	25.0	▲ 3.4
	14 歳	23.6	15.1	8.5	23.4	▲ 0.2	27.5	▲ 3.9
高等学校	15 歳	25.0	15.5	9.5	28.0	▲ 3.0	28.3	▲ 3.3
	16 歳	27.4	15.6	11.9	30.1	▲ 2.7	33.3	▲ 5.9
	17 歳	30.5	18.9	11.6	35.5	▲ 5.0	36.9	▲ 6.4

◆図 10 学校段階別むし歯（う歯）の者の割合



◆図 11 むし歯（う歯）の者の割合の推移（埼玉県）



◇表 11 むし歯（う歯）の者の推移（直近 5 年間とその前 5 年間の比較）（単位：%）

区分		平成 28 年～令和 2 年	令和 3 年～ 7 年
疾病異常被患率 平均値	幼稚園	29.4	18.8
	小学校	39.9	28.0
	中学校	29.8	23.0
	高等学校	39.7	31.8

注) 疾病・異常被患率の平均値は、小数点第二位を四捨五入している。

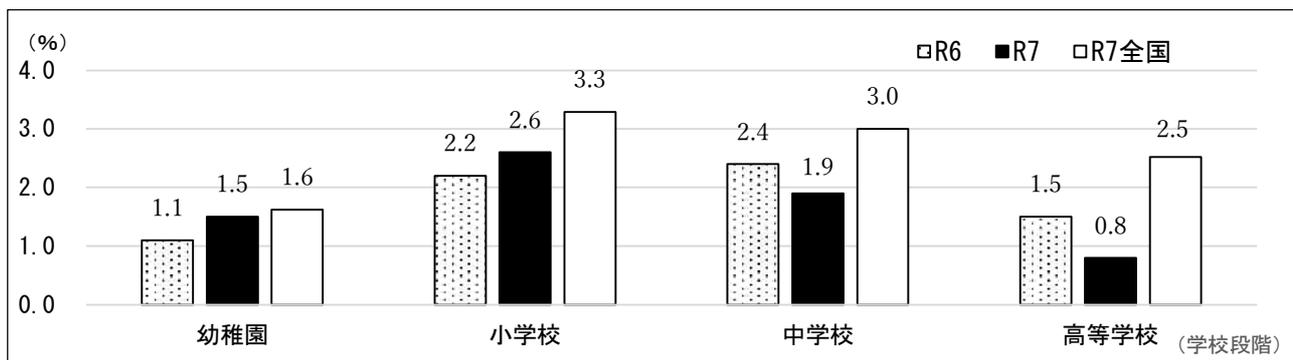
ウ アトピー性皮膚炎（表 12、図 12・13、統計表 4・5・9）

- ・被患率を年齢別にみると、10歳（2.8%）が最も高くなっている。
- ・前年度と比較すると、半数以上の年齢で増加している。
- ・全国と比較すると、すべての年齢で下回っている。
- ・被患率を学校段階別でみると小学校が最も高くなっている。

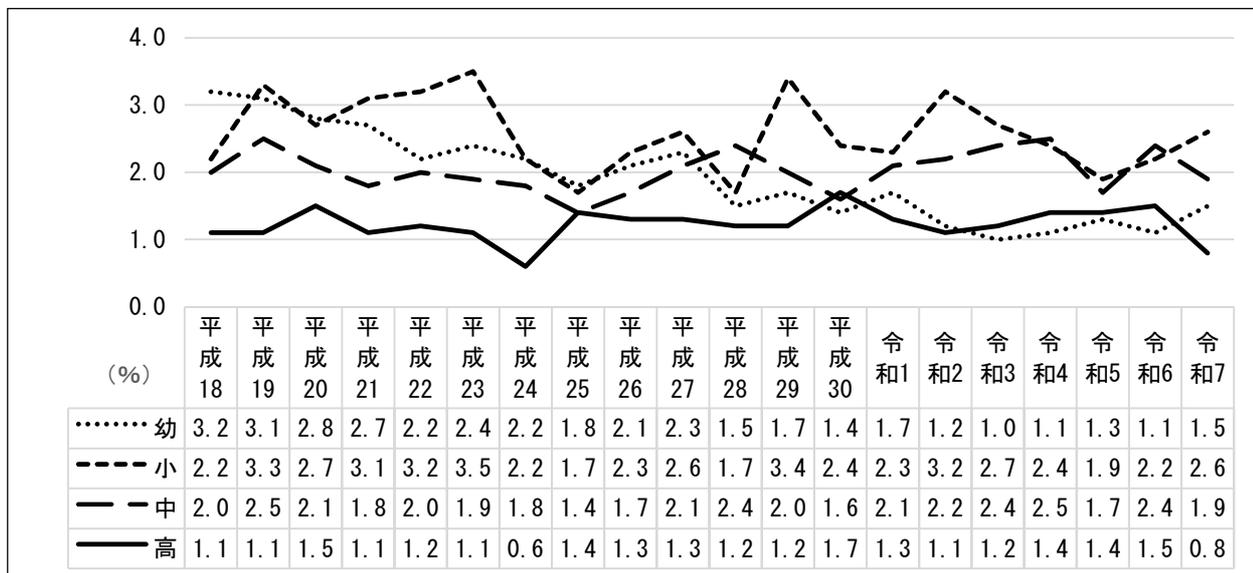
◇表 12 年齢別アトピー性皮膚炎の者の割合（単位：％）

区 分		埼玉県 (A)	前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)
幼稚園	5歳	1.5	1.1	0.4	1.6	▲ 0.1
	6歳	1.9	1.9	0.0	3.0	▲ 1.1
小学校	7歳	2.5	2.2	0.3	3.1	▲ 0.6
	8歳	2.6	2.1	0.5	3.3	▲ 0.7
	9歳	2.5	2.3	0.2	3.4	▲ 0.9
	10歳	2.8	2.4	0.4	3.5	▲ 0.7
	11歳	3.1	2.4	0.7	3.3	▲ 0.2
中学校	12歳	1.8	2.6	▲ 0.8	3.0	▲ 1.2
	13歳	2.1	2.0	0.1	3.0	▲ 0.9
	14歳	1.7	2.7	▲ 1.0	3.0	▲ 1.3
高等学校	15歳	0.9	1.7	▲ 0.8	2.5	▲ 1.6
	16歳	1.0	1.3	▲ 0.3	2.6	▲ 1.6
	17歳	0.6	1.4	▲ 0.8	2.5	▲ 1.9

◆図 12 学校段階別アトピー性皮膚炎の者の割合



◆図 13 アトピー性皮膚炎の者の割合の推移（埼玉県）



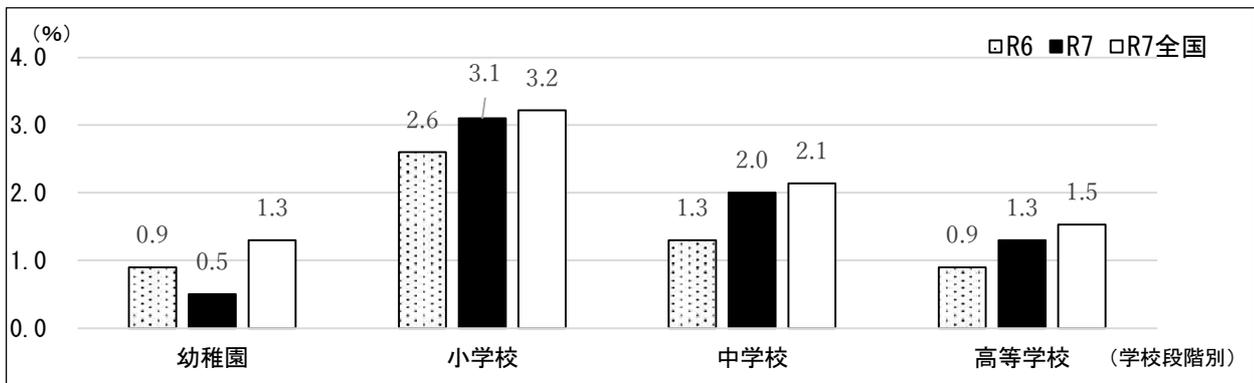
エ ぜん息 (表 13、図 14・15、統計表 4・5・9)

- ・被患率を年齢別にみると、6歳(3.3%)が最も高くなっている。
- ・前年度と比較すると、5歳以外の年齢で増加している。
- ・全国と比較すると、半数以上の年齢で下回っている。
- ・被患率を学校段階別に見ると、小学校が高くなっている。

◇表 13 年齢別ぜん息の者の割合 (単位：%)

区 分		埼玉県 (A)	前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)
幼稚園	5歳	0.5	0.9	▲ 0.4	1.3	▲ 0.8
	6歳	3.3	2.8	0.5	3.5	▲ 0.2
小学校	7歳	3.2	2.5	0.7	3.5	▲ 0.3
	8歳	3.1	2.7	0.4	3.4	▲ 0.3
	9歳	3.0	2.4	0.6	3.1	▲ 0.1
	10歳	3.0	3.0	0.0	3.0	0.0
	11歳	2.9	2.2	0.7	2.9	0.0
	12歳	2.2	1.4	0.8	2.3	▲ 0.1
中学校	13歳	2.3	1.3	1.0	2.2	0.1
	14歳	1.5	1.3	0.2	1.9	▲ 0.4
	15歳	1.3	1.0	0.3	1.6	▲ 0.3
高等学校	16歳	1.1	0.8	0.3	1.5	▲ 0.4
	17歳	1.6	1.0	0.6	1.5	0.1

◆図 14 学校段階別ぜん息の者の割合



◆図 15 ぜん息の者の割合の推移 (埼玉県)

